

《プレスリリース》

10月21日(レース日5日目)

49erFX 級、RS:X 級女子の 2 種目でメダル獲得

原田/永松組は銅、大西は銀メダル

豊田自動織機 海陽ヨットハーバー（愛知県蒲郡市）で開催されている「セーリングワールドカップ 愛知・蒲郡大会」で日本選手が 2 種目で表彰台に上る活躍をみせました。総合 3 位で銅メダルを獲得したのは、ハイスピード艇の 49erFX 級の原田小夜子/永松瀬羅（豊田自動織機所属）。ウインドサーフィン艇の RS:X 艇女子は、大西富士子（ホマレ電池所属）が総合 2 位で銀メダルを手に入しました。両種目とも、日本人選手が表彰台に上るのは初めてです。



左) 49erFX 級で銅メダルを手にした原田/永松組 右) RS:X 級女子で銀メダル獲得の大西富士子

Sailing's World Cup Series Gamagori©JUNICHI HIRAI/BULKHEAD magazine JAPAN

【49erFX 級】

原田/永松組はメダルレース（決勝レース、3 レース実施）の 1 レース目で、痛恨のリコールをしてしまいます。このレースのフィニッシュは 7 位。続くレースは 2 位、最終レースで再び 7 位となり、オーストリアの Frank/Abicht と同点ながらタイブレークで総合 3 位となりました。優勝はアルゼンチンの Travascio/Branz。メダルレースに出場した日本人選手の波多江慶/板倉広佳は総合 4 位、山崎アンナ/高野芹奈は総合 7 位でした。

【49erFX 級女子 3 位：原田小夜子/永松瀬羅 組のコメント】

「今日はスタートがまったくダメで、順位を落とさないことだけで精一杯でした。まだまだだなと思いました。それでもメダルがとれたことは良かったです」（原田）

「この艇種に乗り始めて半年。ようやく世界の選手相手に互角に戦えるようになったことが収穫でした」（永松）

【RS:X 級女子】

RS:X 級女子はアジア選手が上位を独占しました。メダルレースは予定より大幅に遅れて 17 時過ぎにスタート。レースが終了するころには辺りが薄暗くなっていました。レグ毎に順位が変わる大接戦が繰り広げられたメダルレースの優勝者は、香港の Hei Man H V Chan。続いて日本の大西富士子、総合 3 位には中国の Xianting Huang が入っています。マークを回航するごとに順位が入れ替わる大接戦で、優勝の Chan と大西の差は 1 点でした。

【RS:X 級女子 2 位：大西富士子のコメント】

「フィニッシュ直前まで 1 位の Chan と競っていたので負けたことは悔しいですが、でも銀メダルが獲れたことは嬉しいです。最終的な目標は東京オリンピックでメダルを獲ること。短期的な目標は来週江の島で行われる大会で優勝することです」（大西）

今日決勝レースが行われた 49er 級はイギリス勢のトップ争いとなり、Fletcher-Scott/Bithellが優勝。もう一つ予定されていた RS:X 級男子の決勝レースは、日没により明日に順延されました。

最終日の 10 月 22 日（日）は、レーザーラジアル級、レーザー級、470 級女子、470 級男子、RS:X 級男子の順番で決勝レースが行われる予定です。470 級男子には日本から 5 チームが出場します。またこのレースが出産からの復帰戦となる吉田愛は、吉岡美帆と 470 級女子のメダルレースに進出します。日本初開催のセーリングワールドカップもいよいよ終盤です。

【これまでの日本人選手の成績】

●49er 級男子最終成績（参加 20 艇 11 カ国）

14 位：古谷 信玄（エス・ピー・ネットワーク）/八山 慎司（エス・ピー・ネットワーク）

15 位：高橋 稜（オークランド大学）/小泉 維吹（早稲田大学）

●49erFX 級女子最終成績（参加 9 艇 5 カ国）

2 位：原田 小夜子（豊田自動織機）/永松 瀬羅（豊田自動織機）

4 位：波多江 慶（豊田自動織機）/板倉 広佳（豊田自動織機）

7 位：山崎 アンナ（ノエビア/日本体育大学） 高野 芹奈（ノエビア/関西大学）

●RS:X 級女子最終成績（参加 13 艇 6 カ国）

2 位：大西 富士子（ホマレ電池）

5 位：小嶺 恵美（一宮開発グループ/ジェイウィルコーポレーション）

8 位：伊勢田 愛（福井県体育協会）

11 位：須長 由季（ミキハウス）

12 位：松浦 花咲実（大阪学院高等学校）

14 位：山辺 美希（サガミ）

●470 級男子（参加 24 艇 12 カ国）

2 位：磯崎 哲也（エス・ピー・ネットワーク）/高柳 彬（日本経済大学）

4 位：今村 亮（一宮開発グループ）/外薮 潤平（JR 九州）

5 位：土居 一斗（アビームコンサルティング）/木村 直矢（アビームコンサルティング/日本大学）

7 位：高山 大智（YAMAHA Sailing Team‘Revs’）/今村 公彦（YAMAHA Sailing Team‘Revs’）

9 位：市野 直毅（所属なし）/長谷川 孝（横浜ゴム）

16 位：河合 龍太郎（三井住友海上火災保険）/中澤 太郎（三井住友海上火災保険）

19 位：神木 聖（YAMAHA Sailing Team‘Revs’）/疋田 大晟（YAMAHA Sailing Team‘Revs’）

24 位：小泉 颯作（トヨタ自動車東日本）/野田 友哉（日本経済大学）

●470 級女子（参加 14 艇 7 カ国）

2 位：吉田 愛（ベネッセホールディングス）/吉岡 美帆（ベネッセホールディングス）

11 位：林 優季（明海大学職員）/西代 周（明海大学職員）

12 位：山本 佑莉（鳥取県セーリング連盟）/斎藤 由莉（早稲田大学）

13 位：宇田川 真乃（YAMAHA Sailing Team‘Revs’）/関 友里恵（YAMAHA Sailing Team‘Revs’）

●レーザー級男子（参加 50 艇 23 カ国）

17 位：瀬川 和正（鳥取県立米子産業体育館）

38 位：南里 研二（三重県体育協会事務局）

47 位：樋口 碧（神奈川県セーリング連盟/エニタイムフィットネス関内）

49 位：北村 勇一朗（関東学院大学）

●レーザージャニアル級女子（参加 35 艇 21 カ国）

26 位：多田 桃子（三重トヨタ自動車）

28 位：富部 柚三子（福井県体育協会）

●RS:X 級男子（参加 19 艇 9 カ国 2 レース実施）

4 位：富澤 慎（トヨタ自動車東日本）

13 位：池田 健星（明治大学・KAYA）

16 位：倉持 大也（福井県体育協会）

17 位：尾川 潤（島精機製作所）

19 位：福村 拓也（豊田自動織機）



Japan 2017
World Cup
Series



【成績表】

<http://sailing.org/worldcup/results/index.php>

【レースライブ航跡図】

レース艇は全艇 GPS を搭載しており、ライブ航跡図は以下でご覧いただけます。

<https://wcs2018-gamagori.sapsailing.com/>

【報道記事用の公式写真】

高解像度のエディトリアルフリー（報道記事用の無料写真）写真は以下からダウンロードしてお使いいただけます。パスワードは **WSimages** です。

<https://worldsailing.photoshelter.com/gallery-collection/WCS-Gamagori-2017/C0000B8AxwR4QL6U>.

【テレビ放送用公式映像】

テレビ放送用の公式映像は 19 日（木）～22 日（日）に提供可能です。素材の提供はクラウド経由で行います。レース画像、選手インタビューなどのリクエストには下記までお問い合わせください。

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

セーリング ワールドカップ 愛知・蒲郡大会 プレス担当：西 朝子(にし ともこ)

Tel: 090-1042-9262 Email: press@swc-jsaf.org

<http://swc-gamagori.jp/>

<http://www.sailing.org/worldcup/>